

見本

氏 名	山田 太郎	ふりがな	やまだ たろう
E - m a i l	Taro.Yamada@xxxxx.com		
所 属 施 設	XXX 大学大学院		
診 療 科	医学系研究科 画像診断学講座		

次の通り保険適用を希望する技術を提案します。

提 案 さ れ る 医 療 技 術 名	MR エラストグラフィ
応 募 分 野	☒ 放射線診断 ☐ 核医学 ☐ IVR ☐ 放射線治療 ☐ その他、放射線医療に関連する新しい技術やアプローチ
提 案 さ れ る 医 療 技 術 の 概 要 (200 文字以内)	専用ハードウェアで肝臓に振動を与え MRI 撮像することにより肝硬度を非侵襲的に測定でき、肝生検の代替として最も正確な肝線維化診断が可能。ウイルス性肝炎の治療適応や効果予測、慢性肝疾患の診断、肝癌の予防に役立つ。
保 険 収 載 が 必 要 な 理 由 (300 文字以内)	従来の肝線維化診断は侵襲的な肝生検が中心で、全体的な肝状態の評価や繰り返し検査には限界があった。超音波エラストグラフィは改善をもたらしたが、全肝評価や特定条件下での測定困難が課題である。新技術は、非侵襲で肝全体の線維化を最も正確に評価できる手法として、これらの課題を克服している。
有 効 性 ・ 効 率 性 ・新規性、効果等について既存技術との比較 ・長期予後等アウトカム	本技術は、専用ハードウェアを使って体外から肝臓に振動を与えつつ MRI 撮像を行う手法で、肝疾患の初診や治療前の評価、および慢性肝疾患の定期的な監視に最適である。これは通常の MRI と併用可能で、特に慢性肝疾患のサーベイランスでは年に一度の施行が推奨される。

その他ご参考：

・診療報酬調査専門組織（医療技術評価分科会） | 厚生労働省

（令和 6 年度改定に向けた）医療技術評価・再評価提案書

mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000190899_00011.html

※JRS の提案書は、[提案書 01（0001 頁～0202 頁）](#) の 42 ページ以降です。

（令和 4 年度改定に向けた）医療技術評価・再評価提案書

mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000190899_00006.html

※JRS の提案書は、[提案書 01（0001 頁～0201 頁）](#) の 31 ページ以降です。